

授業科目名	ことばとコミュニケーション	担当教員名	松尾 澄英
科目区分	基礎科目	施行規則に定める科目区分 等	外国語、体育以外の科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	<p>・この授業では、ことばを豊かにすることで、自己をより深く認識し、他者を理解し、互いに伝え合うための「ことばによる思考・判断・表現の力」を育みます。</p> <p>・授業の前半では、自身が観察したり、体験したエピソードをどのように「ことばで記録する」のかを、複数の事例から学びます。</p> <p>・実際に動画教材を用いて観察記録を行うことで、必要な観察の観点を持ち、適切な表現の工夫を用いて文章記録する力をつけます。</p> <p>・後半では、観察や体験を踏まえ、レポートを書く段階に必要な、意見や根拠の提示といった「論理的な文章」を書くことを学びます。</p> <p>・これらの根底には、「豊かな語彙力」が欠かせません。すべての活動には、他者との協働学習があり、ピアレスポンスやリフレーミングが語彙力の獲得を支えます。</p>		
到達目標	<p>(1)保育観察に必要な観点を理解し、適切に記録を行うことができる。</p> <p>①幼児の発達について観察する観点を理解している。</p> <p>②観察記録の内容・構成・表現について理解している。</p> <p>③適切な言葉を用いて、記録することができる。</p> <p>(2)現代的な保育の課題をふまえ自己の考えを適切にレポートに書くことができる。</p> <p>①現代的な保育の課題を理解している。</p> <p>②レポートの内容・構成・表現について理解している。</p> <p>③自己の課題を発見し、考えや意見を書くことができる。</p> <p>(3)適切な言葉を用いて、他者とコミュニケーションを行うことができる。</p> <p>①社会人として適切な日本語で分かりやすく伝えたり、説明・説得したりすることができる。</p> <p>②自己や他者を肯定的に捉え、協働的に学ぶことができる。</p>		
テキスト	毎回プリント配布		
参考書・ 参考資料等	授業中に随時紹介する		
成績評価の方法	授業への参加意欲・授業態度等 30% 課題・レポート 70%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については、課題・レポートを提出。 オフィスアワー：授業終了後(講師控室)、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	自己を紹介するために、自己の人物形成過程の記録を書く 他者の人物像を聞いて、別の言葉に言いかえる(リフレーミング)	(3)-①,(3)-②	
第2回	観察記録を読む① 比較・分析 (観察の観点・記述/表現の工夫)	(1)-①,(1)-②,(3)-①	
第3回	観察記録を読む② 比較・分析 (観察の観点・記述/表現の工夫)	(1)-①,(1)-②,(3)-①	
第4回	観察記録を書く① 保育ドキュメンタリー動画を見て観察記録を書く	(1)-①,(1)-②,(1)-③	
第5回	観察記録を書く② 観察記録を推敲する	(1)-①,(1)-②,(1)-③	
第6回	観察記録を話し合う 保育フォーラム 発表と話し合い	(1)-①,(1)-②,(3)-①, (3)-②	
第7回	意見レポートを読む① 保育に関する動画を見て、現代的な保育問題を理解する	(2)-①, (3)-②	
第8回	意見レポートを読む② 保育に関する意見レポートを読み、叙述の工夫を捉える	(2)-①, (2)-②, (3)-①	
第9回	意見レポートを書く① 現状を把握し、トピックを考えてグループで共有する	(2)-①, (2)-②,(3)-②	
第10回	意見レポートを書く② 主張・根拠・アウトラインを考える	(2)-①,(2)-②	
第11回	意見レポートを書く③ 序論・本論・結論に構成し、書き上げる	(2)-①,(2)-②,2-(3)	
第12回	意見レポートを交流する ピアレスポンス、推敲を行う	(2)-①,(2)-②,,(3)-②	
第13回	リフレーミング集を作ろう① 保育で用いる様々な「ことばの言い換え」を考える	(3)-①, (3)-②	
第14回	リフレーミング集を作ろう② 保育で用いる様々な「ことばの言い換え辞書」を作る	(3)-①,(3)-②	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第15回	レポート返却と授業のまとめ	(2)-②, (3)-①, 3-②